

# 80周年祝う調べ響く

## 神原小で記念コンサート



子供たちを前に優雅なフルートの音色を響かせる古賀さん（8日午前9時15分、神原小体育館で）

室内交響楽団のソリストとして活躍するフルート奏者の古賀敦子さんが、クラシックの名曲を演奏。児童、保護者と地元住民総勢約四百人が、館内にゆったりと流れる調べを堪能した。

演奏後には一年生の兼氏綾乃さんと野村みなみさんが、お礼の花束を贈呈。アンコールで古賀さんはマズネの「タイスの冥想曲」を奏でた。終わりに、児童代表の見谷麻帆さん（六年）が「きょうは素晴らしい演奏を聞き、胸がいっぱいです。フルートの優しくて美しい音色が心に染み込んできました」と感謝の言葉を述べた。

古賀さんは福岡県出身。世界の数々のコンクールで優勝・入賞を果たし、日本人のフルート奏者で唯一、欧州のオーケストラに入っている。この日は曲の解説を加えないが、モーツァルトの「アンダンテ」、サンサーンの「白鳥」、ビゼーの「カルメン幻想曲」などを披露し「私はリコーダーが大好きで、今の仕事につながった。皆さんも

神原小（西崎文孝校長、二百九十四人）の開校八十周年記念コンサートが、八日、同校体育館で開かれた。ドイツのマグデブルク・フィルハーモニー

11月10日まで 神楽公園

ひびく

5